

ひろみちお兄さんの親子体操教室



園こどもの育ち連携推進室(すこやか生活課)

☎・☎(581)0201 ☎(581)1628 ✉sukoyaka@city.moriyama.lg.jp

NHK教育番組「おかあさんといっしょ」第10代目体操のお兄さんの佐藤 弘道さんを講師に、親子のふれあい遊びを体験する「親子体操教室」を開催します。音楽に合わせて、親子で楽しく身体を動かしましょう。

時 11月23日(土・祝)午後1時30分～2時30分(開場：午後1時～)

所 市民体育館 大アリーナ

対 3歳～年長児の幼児とその家族

(小学2年生までの兄弟も一緒に参加可)

定 先着350人 **料** 無料

持 室内用運動靴(スリッパ不可)、飲み物

申 9月17日(火)から、①住所 ②参加者全員の氏名 ③お子さまの年齢

④電話番号 ⑤当日の緊急連絡先 ⑥託児を希望する場合は人数および年齢を明記し、メールまたは直接上記へ申し込み。

メールの場合は件名に「親子体操教室申込み」と入力してください。

他 運動できる服装でお越しください。

佐川美術館
アートコラム②

対峙する造形

公益財団法人佐川美術館
学芸員・松山早紀子



楽吉左衛門館では、**鑄込み技法**※1による青白磁の立体作品で知られる**深見**陶治と、**樂焼**による焼貫※2茶入を提示※3する**樂直入**のコラボレーション展を企画しています。伝統の中にも常に新しさを追求し続け、工芸の枠を脱して彫刻的な造形へと昇華させた両者の見事な対峙となるに違いありません。

深見は、日本の現代陶芸を世界に広めた先駆的な作家であり、独自の技法(泥漿圧力鑄込み)を用い、青白磁では類を見ないほどの大きいスケールの彫刻的作品を生み出しています。世界最大の大きさに挑戦する深見に対し、直入は最小世界を茶入で対峙させます。直入が茶碗ではなく茶入を出品しているのは、茶入が閉じられた形だからという理由からです。

茶碗は用途を持っていて、その形は開かれているのに対し、茶入は、身と蓋が一つの入れ物という課題の中で一体になって閉じています。閉じているということとが大事で、それは**立体を保持しているということ**だと直入は言います。大きな立体の深見作品と対峙させるなら、茶碗よりも、きちっと立体を保持している茶入だと考えました。

寸法、つまりサイズ感の対比と、物理的な寸法のサイズ感の対比を超えて、作品が存在すること自体の力を鑑賞してほしいと考えています。

※1 鑄込み技法：液化化した粘土を型に流し込む技法

※2 樂焼による焼貫：陶芸の焼貫という技法をヒントに直入が独自に編み出した焼成方法

※3 提示：制作して発表すること